



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス
コード番号 7844 URL <http://www.marv.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 中山 晴喜
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 CFO 管理統括本部長 (氏名) 加藤 征一郎 TEL 03-5769-7447
四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,758	7.9	655	△22.8	649	△25.9	424	△20.2
26年3月期第1四半期	4,410	46.2	849	205.3	876	237.3	531	254.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 423百万円 (△20.5%) 26年3月期第1四半期 532百万円 (264.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	7.93	7.93
26年3月期第1四半期	9.94	—

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	16,815	11,661	69.4	218.09
26年3月期	16,816	11,921	70.9	223.02

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,661百万円 26年3月期 11,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,300	7.5	1,210	△11.4	1,205	△13.0	723	△16.0	13.52
通期	25,000	23.0	3,800	26.4	3,790	24.6	2,274	20.8	42.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	53,593,100株	26年3月期	53,593,100株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	122,400株	26年3月期	138,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	53,458,871株	26年3月期1Q	53,455,100株

平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結貸借対照表関係)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	6
(株主資本等関係)	6
(セグメント情報等)	7
(1株当たり情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、スマートフォンの急速な普及に伴うかたちでスマートフォンゲーム市場が拡大し、特にApp StoreやGoogle Playといったアプリマーケットが急成長いたしました。世界的なアプリ市場拡大の中で、日本ではゲームを中心にアプリ内課金というビジネスがしっかりと定着してきております。家庭用ゲーム市場におきましては、ハードの世代交代やソフトの発売タイトル数減少という状況下において、家庭用ゲーム機対応のダウンロード版やフリートップレイの課金等で、新たなビジネス展開も増えてきております。アーケードゲーム市場につきましては、キッズ向けに様々なゲームが登場し、新しい筐体やボードが使用され、話題性のあるゲームが増えてきました。音楽・映像分野におきましては、ソフト市場は依然として厳しい環境下にあります。デジタルコンテンツを上手く活用したライブエンターテインメントビジネスの将来性には大きな期待が寄せられております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核としたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）の業績は、売上高4,758百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益655百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益649百万円（前年同期比25.9%減）、四半期純利益424百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①オンライン事業

当事業のPCブラウザゲームにおきましては、サービス開始から5周年となりました「ブラウザ三国志」が、その根強い人気を維持しながら堅調に推移し、その他の定番タイトルにつきましても、ほぼ計画通りに推移いたしました。また、モバイルブラウザゲームにおきましては、「一騎当千バーストファイト」がサービス開始から2年が経過してなお好調を継続いたしました。スマートフォンアプリへの市場シフトの中でも、当社のモバイルブラウザゲームは、既存タイトルが底堅く推移しており、PCブラウザゲームと同様に、既存タイトルへの注力を継続してまいります。ネイティブアプリに関しましては、平成25年12月にリリースいたしました「剣と魔法のログレス いにしへの女神」が好調に売り上げを伸ばしており、当第1四半期連結累計期間の収益に大きく貢献いたしました。今後は更なるプロモーション強化を図ってまいります。一方で、将来の収益性が不透明な3タイトル（海外向け1タイトルを含む）の開発を中止し、それに伴う仕掛開発費の一括償却を行いました。好調なタイトルを更に育成、強化しながら、新規タイトルの開発も厳選したものにリソースを集中させてまいります。

この結果、当事業の売上高は2,656百万円（前年同期比36.6%増）、営業利益は395百万円（前年同期比117.9%増）となりました。

②コンシューマ事業

当事業の自社販売部門につきましては、当第1四半期連結累計期間における新規タイトルの発売はありませんでした。また、前年同期に集中していたリピート販売の反動もあり、前年同期比における差異は、新規タイトルの発売タイミングの違いから生じております。

アミューズメント部門につきましては、キッズアミューズメント筐体の「ポケモンレッタ」に加え、新たな機種として、平成26年6月26日より、ガンホー・オンライン・エンターテインメント社のIPを使用した「パズドラZ テイマーバトル」のサービスを開始いたしました。

この結果、売上高は1,278百万円（前年同期比23.8%減）、営業利益は298百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、プリキュアシリーズのTVアニメ「ハピネスチャージプリキュア！」の音楽・映像商品化を行ったほか、前期に放送いたしました当社主幹事TVアニメ作品「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」の海外番組販売や配信等の2次利用収入が堅調に推移いたしました。

ステージ制作部門におきましては、「ミュージカル『テニスの王子様』」において合計66公演分の実績を計上し、関連DVDを1作品発売いたしました。また、前期公演の「ミュージカル『薄桜鬼』HAKU-MYU LIVE」のDVD化を行い、「舞台『弱虫ペダル』」の関連DVDのリポート販売とともに好調に推移いたしました。

この結果、売上高は825百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は228百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、資産16,815百万円（前連結会計年度末比1百万円減）、負債5,153百万円（前連結会計年度末比258百万円増）、純資産11,661百万円（前連結会計年度末比259百万円減）となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の減少等により14,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ498百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産の増加等により2,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ496百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、未払法人税等の減少、未払金の増加等により5,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ248百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、資産除去債務の増加等により64百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益424百万円を計上したものの、前連結会計年度末の配当により利益剰余金が減少し11,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ259百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,020	8,389
受取手形及び売掛金	3,505	3,145
電子記録債権	59	40
有価証券	72	71
たな卸資産	1,472	1,797
その他	471	659
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	14,583	14,085
固定資産		
有形固定資産	533	1,064
無形固定資産		
のれん	137	128
その他	1,020	964
無形固定資産合計	1,157	1,093
投資その他の資産	661	583
貸倒引当金	△120	△11
固定資産合計	2,233	2,730
資産合計	16,816	16,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	757	436
短期借入金	585	532
1年内返済予定の長期借入金	23	15
未払金	1,426	2,066
未払印税	911	925
未払法人税等	705	227
引当金	28	—
その他	401	884
流動負債合計	4,840	5,089
固定負債		
長期借入金	40	36
資産除去債務	14	26
その他	—	1
固定負債合計	54	64
負債合計	4,895	5,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128	1,128
資本剰余金	6,373	6,382
利益剰余金	4,440	4,169
自己株式	△27	△24
株主資本合計	11,914	11,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	6	5
その他の包括利益累計額合計	6	5
純資産合計	11,921	11,661
負債純資産合計	16,816	16,815

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,410	4,758
売上原価	1,935	2,033
売上総利益	2,474	2,725
販売費及び一般管理費	1,625	2,069
営業利益	849	655
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	22	—
受取賃貸料	—	1
貸倒引当金戻入額	4	1
その他	2	2
営業外収益合計	30	6
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	9
その他	0	0
営業外費用合計	2	12
経常利益	876	649
特別利益	—	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	876	639
法人税等	345	215
少数株主損益調整前四半期純利益	531	424
少数株主利益	—	—
四半期純利益	531	424
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	531	424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	—
その他の包括利益合計	1	△0
四半期包括利益	532	423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	532	423
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対し、重畳的債務引受を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
株式会社アニメーションスタジオ・アートランド	19百万円	18百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	218百万円	202百万円
のれんの償却額	11百万円	8百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

平成25年5月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	668百万円
② 1株当たり配当額	1,250円00銭
③ 基準日	平成25年3月31日
④ 効力発生日	平成25年6月7日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

配当金支払額

平成26年5月9日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	694百万円
② 1株当たり配当額	13円00銭
③ 基準日	平成26年3月31日
④ 効力発生日	平成26年6月9日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額には当該株式分割後の実際の配当額を記載しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	オンライン事業	コンシューマ事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,944	1,677	788	4,410	—	4,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	1,944	1,677	788	4,410	△0	4,410
セグメント利益	181	739	183	1,104	△255	849

(注) 1 セグメント利益の調整額△255百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	オンライン事業	コンシューマ事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,656	1,278	824	4,758	—	4,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	2,656	1,278	825	4,759	△1	4,758
セグメント利益	395	298	228	922	△266	655

(注) 1 セグメント利益の調整額△266百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	9円94銭	7円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	531	424
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	531	424
普通株式の期中平均株式数(株)	53,455,100	53,458,871
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	7円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	2,701
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。
- 2 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。